

「新たな年のはじまりにあたって」校長 東 晋平

新年明けましておめでとうございます。

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今年も無事新たな年を迎えることができましたこと、皆様とともに祝いたします。

毎年のことですが、正月休みにテレビで駅伝を見るのが楽しみの一つです。今年も実業団選手や大学生たちがカー杯の力走を見せてくれ、感動や勇気、そして希望を与えてくれました。

かつて、山梨学院大学の陸上部にケニアからの留学生オツオリ選手が在籍していました。彼は、成田空港に到着するやいなや監督に「日本で頑張っていくために何かアドバイスをお願いします。記念すべきファーストアドバイスだからしっかり守ります。ケニアの指導者から日本に着いたら、大学のコーチに最初にかけてもらった言葉を胸に刻んで頑張るように言われています。」と聞いてきたそうです。監督は、「誰よりも強くなりたいのなら、少しでも早くグラウンドに出てきて体の準備をして、時間の許す限りプラスアルファのトレーニングをして帰りなさい。」と伝えたそうです。その後、チームに合流したオツオリ選手は、その言葉どおりに実践し、早朝練習の集合時間6時半には、しっかりと汗をにじませていたそうです。

先日、今年度の県内特別支援学校の初任者教員に向けてお話をする機会がありました。仕事に向かう心構え等について伝えました。その中で、初めて教員になろうとした時の気持ちを大切にしてほしいことを英語のことわざを用いて紹介しました。

Try never to lose your initial enthusiasm.

日本語に訳すると「始めの情熱を決して忘れないようにせよ」です。日本にも「初心忘るべからず」という言葉があります。私には英語の方がより具体的で分かりやすく、心に響くものがあります。だれでも物事に取り組み始める時にはやる気に満ちています。でも実際は、思うようにいかないことも多く、時には壁にぶち当たり挫折してしまうこともあります。でも、そんな時こそ、自分がやろうと思った時の熱い気持ちをもう一度思い出して頑張してほしいと思います。

新たな年の始まりにあたり、私自身も教師になろうと思った時の気持ちを思い出し、この一年間取り組んでみようと思っています。

本年も本校の教育活動推進により一層のご理解、ご協力をよろしくお願いします。



2月の行事予定



- 2月 7日 (木) 高等部3年生を送る会
- 2月13日 (水) 和歌山かがやき展
(和歌山県民文化会館)
- 2月14日 (水) 高等部3年生を送る会予備日
- 2月18日 (月) 児童生徒会役員選挙
- 2月18日 (月) 高等部学年末テスト (1,2年生)
~21日 (木)
- 2月25日 (月) 児童生徒会主催誕生日会

